

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	広報に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	3	
政策	41計画の実現のために	担当課室	秘書広報課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	大塚 潤一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	広報:より読みやすく親しみの持てる広報紙とする。市ホームページ等:「市ホームページリニューアル事業」により、CMSを導入し、サイトのリニューアルを行う。	③令和元年度に取組む改革・改善内容	広報:より読みやすく親しみの持てる広報紙とする。市ホームページ等:導入されたCMSの活用による多様な行政情報の提供と、ウェブアクセシビリティの維持・向上を進めていく。
②①に基づく取組み結果	広報:分かりやすい文章、写真・図・イラスト等を使用し、読みやすく親しみの持てる紙面とした。市ホームページ等:CMSを導入し、平成30年6月25日付けでリニューアル後の市ホームページを稼働させた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	広報:市内全世帯 市ホームページ等:市民	意図(対象をどうするのか)	広報・ホームページ等の特性を活かし、子どもから高齢者まで、多くの市民に行政情報などを提供する。
②事務事業の概要	市の施策や行事、市民の自主的活動などの市民生活に必要な情報を広く知らせるとともに、市政への理解と協力を得るため、広報紙を発行する。また、行政手続きや緊急性のある行政情報などの提供を市ホームページ等で随時行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	広報紙:昭和32年5月1日から発行。市ホームページ:平成10年9月1日から開始。ツイッター:平成23年4月11日から開始。フェイスブック:平成26年2月3日から開始。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	「広報かまがや」を年24回(毎月1日号・15日号)発行した。新聞折り込みにより各世帯に配布し、新聞未購読世帯の希望者にはポスティングを行った。また、公共施設や駅などに配置するとともに、市ホームページに掲載し、スマートフォンアプリ「マチイロ」で配信を行った。市ホームページ等では、行政手続きや緊急性のある行政情報などの提供を随時行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	広報発行回数	24	24	24	回	業務取得
	ii	広報発行部数	39,000	39,000	39,000	部	業務取得
iii	市ホームページ更新件数	1,357	1,457	1,957	件	業務取得	
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	19,249	20,650	金額(千円)		内容		26,312
国支出金(千円)			10,564		広報かまがや編集印刷委託		
県支出金(千円)			6,331		広報かまがや新聞折込委託		
市債その他(千円)	186	203	1,446		広報かまがやポスティング委託		550
一般財源(千円)	19,063	20,447					25,762

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	広報:より多くの市民が閲読できる環境(配布・配置等)の整備。ホームページ等:ウェブアクセシビリティの維持・向上及び情報発信の充実。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	市民に行政情報などを公平に提供し、市民と行政との情報共有をさらに充実させる必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	平成30年度事業費の状況(単位:千円)			
	計画事業費	予算額		決算額
②計画に対する事業実績	0	当初		0
		H29→30繰越		
③達成状況		補正		現年分
④未完了・非着手の理由	令和元年度への繰越額(単位:千円)			

令和元年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市ホームページリニューアル事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	3	○
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	秘書広報課			
施策	142市民生活を支える地域情報化の推進	担当課室長	大塚 潤一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	無し	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	無し
②①に基づく取り組み結果	無し		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	ホームページ:市民 CMS:市職員	意図(対象をどうするのか)	ウェブアクセシビリティに配慮して、市民に見やすく、分かりやすい行政情報の提供を行う。市職員のCMS活用度を高めていく。
②事務事業の概要	ウェブアクセシビリティの維持・向上、自然災害時の緊急情報の配信等の危機管理体制の強化、充実した行政情報の迅速な提供を目的とした市ホームページリニューアルを実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市職員向けリニューアル事業概要説明、ウェブアクセシビリティ研修:平成30年5月9日実施。 市職員向けCMS操作研修:平成30年5月22日から平成30年5月24日に実施。 リニューアル後の市ホームページ:平成30年6月25日から開始。 全国瞬時警報システム(Jアラート)試験送信:平成31年3月26日に実施。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	市ホームページリニューアルに当たり、職員向けに事業の概要及びウェブアクセシビリティについての事前説明及びCMS操作研修を実施した。また、高齢者や障がい者を含めて、誰もが提供される情報を支障なく利用できるウェブアクセシビリティの体制を構築した。さらに、各所属での更新作業を可能とし、夜間・休日等の緊急時にも迅速で正確な情報提供が可能な体制を構築した。加えて、大規模災害時情報など即時性のある緊急情報を自動配信する全国瞬時警報システム(Jアラート)連動機能を市ホームページに導入した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	トップページアクセス数			747,151	回	業務取得
	ii	職員向けCMS操作研修(補習を含む)実施回数			17	回	業務取得
iii						回	
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	0	30,249	金額(千円)	内容		0	
国支出金(千円)			23,760	市ホームページリニューアル業務委託			
県支出金(千円)			3,465	全国瞬時警報システム連動機能導入委託			
市債その他(千円)		3,400	1,651	市ホームページ機器使用料			
一般財源(千円)		26,849	1,373	市ホームページ保守管理委託			

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	CMS(コンテンツマネジメントシステム)の導入により、各所属におけるコンテンツの作成・更新を可能にした一方で、ウェブアクセシビリティに基づく作成上のルールへの配慮が不足しているコンテンツも見受けられる。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	市ホームページの全面リニューアルが完了したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	リニューアルに伴うCMS導入、ホームページ保守及び職員対象研修の実施	平成30年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	事業概要の説明会開催、職員向けCMS操作研修実施、市ホームページリニューアル実施、全国瞬時警報システム(Jアラート)連動機能導入	28,419	31,884	当初	28,419	30,249	H29からの繰越	0
				H29⇒30繰越	0		現年分	30,249
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	3,465			
		令和元年度への繰越額(単位:千円)				0		